

SBI 岡三アセットマネジメント株式会社：「地域応援ファンド」を通じた地元企業や地域経済に貢献する企業の応援と社会貢献

背景・目的

SBI 岡三アセットマネジメント株式会社（以下、SBI 岡三 AM）は、特定の地域の地元企業や地域経済に貢献する企業への投資を行ったり、信託報酬から地域への寄付を行う「地域応援ファンド」を7本運用している。国内で「応援」がファンド名に含まれ、地域等へ支援を行っていると思われる現存する公募ファンドは、SBI 岡三 AM の7本が最多と推定される。

SBI 岡三 AM の「地域応援ファンド」の歴史は、岡三証券株式会社（以下、岡三証券）のグループ会社であった資産運用会社、日本投信委託株式会社（後の SBI 岡三 AM）が 2005 年に設定した「三重県応援ファンド」から始まる。三重県の地域金融機関（販売会社）より、三重県に貢献できる商品を作れないかとの依頼があり、また、同時期にグループ内の販売会社においても、岡三証券の発祥の地である三重県の経済・産業界はもとより、社会貢献も含め県の発展に貢献できるファンドの検討を進めていた。地域金融機関とグループ内販売会社の思いが一致し、2005 年 9 月に「三重県応援ファンド」が設定された。国内で現存する「地域応援ファンド」の中で最も歴史の長いファンドとみられる。最初の寄付は児童福祉施設みどり自由学園への車両の寄付だった。

概要

現在、SBI 岡三 AM が運用する「地域応援ファンド」は大きく分けて、以下 A、B の2種類。運用中のファンドは図表1の通り。

- A: 国内外の株式や債券、J-REIT で構成される投資信託の信託報酬の一部を特定の地域に寄付するファンド。
B: 特定の地域の地元企業や地域経済に貢献している企業の株式で構成されるマザーファンドをポートフォリオに含む投資信託で、信託報酬の一部を特定の地域に寄付するファンド。

図表1：SBI 岡三 AM が運用する「地域応援ファンド」一覧（2025 年 2 月 15 日時点）

ファンドのタイプ	ファンド名	設定日	ポートフォリオに占める地域関連株・債権の割合	寄付者
A	リスク抑制型・4 資産バランスファンド（にいがた創業応援団）	2019 年 10 月		岡三にいがた証券、SBI 岡三 AM
A	インフラ関連グローバル株式ファンド（にいがたインフラサポート）	2021 年 12 月		岡三にいがた証券、SBI 岡三 AM
B	三重県応援ファンド	2005 年 9 月	三重県関連株 25%±5%程度	SBI 岡三 AM
B	三重県応援・債券ファンド（毎月決算型）/（1 年決算型）	2010 年 1 月	「三重県関連債券マザーファンド」5%程度	SBI 岡三 AM
B	福井県応援ファンド	2005 年 12 月	福井県関連株 25%±5%程度	SBI 岡三 AM
B	香川県応援ファンド	2006 年 5 月	香川県関連株 25%±5%程度	SBI 岡三 AM
B	くまもと未来応援ファンド	2018 年 1 月	熊本県関連株 25%程度	鹿児島銀行、九州 FG 証券肥後銀行
B	北陸みらい応援ファンド	2023 年 1 月	北陸三県関連株 33%程度	今村証券

寄付額は信託報酬の一部を寄付原資として、ファンドの日々の純資産 総額に対し年率 0.15%～0.20% を乗じて得た額である。寄付は商品により、販売会社経由の場合と、SBI 岡三 AM 経由の場合があ

る。寄附を行うことを考慮し、委託会社・販売会社・受託会社が受け取る信託報酬は低めに設定していると、SBI 岡三 AM は述べている。

応援する地域に関連した株式の組入比率は、概ね 20%～33%程度で、中長期的に安定した収益を確保しつつ、投資信託財産の成長を目指している。

最も設定日が新しい「北陸みらい応援ファンド」の北陸関連株の運用戦略は以下の2つ。他の「地域応援ファンド」も同様の戦略を掲げている。

戦略1：投資対象は北陸三県に本社または本店がある企業（運用ウェイト 25%）

- ・ 2022 年 11 月 30 日時点で 70 社近く組み入れ。
- ・ 財務内容を考慮の上、特に問題がない限り全銘柄を組み入れる方針。
- ・ 代表的な企業は以下の通り（組入比率順、2024 年 12 月 30 日時点）
株式会社ゴールドウイン…本店が富山県内/スポーツ用品の製造と販売
株式会社クスリのアオキホールディングス…本社が石川県内/ドラッグストア事業と調剤薬局事業
株式会社ほくほくフィナンシャルグループ…本社：本社が富山県内/主なグループ会社は株式会社北陸銀行、株式会社北海道銀行
三谷商事株式会社…本社が福井県内と都内の2か所/建設、エネルギー、情報システム、ケーブルテレビ事業、カーディーラー運営、介護事業等
北陸電力株式会社…本店が富山県内/電気事業

戦略2：北陸三県に工場や店舗などがあり、北陸三県の経済に貢献している企業（運用ウェイト 75%）

- ・ 日本を代表する企業が多く含まれている
- ・ 代表的な企業は以下の通り（組入比率順、2024 年 12 月 30 日時点）
世紀東急工業株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、株式会社アイシン、株式会社小松製作所、日本曹達株式会社

戦略1にあるように地域関連株は「財務的に問題がなければ全銘柄取り入れる」戦略だが、帝国データバンク、Bloomberg、QUICK などの外部ベンダーを活用した定量的スクリーニングを行うことで、効率的な調査を行っている（工場等についての最終的な確認は、担当ポートフォリオ・マネージャーが個々の銘柄ごとに行う）。また、一定のルールに基づいて行っているため、一般的なアクティブファンドよりも、ファンドマネージャーの負担は相対的に低いと SBI 岡三 AM は述べている。

寄附先・寄附の内容は、販売会社等と協議の上、決定している。

実績

「地域応援ファンド」全体の寄付総額は 2023 年 11 月までに累計 4 億 5,000 万円以上。延べ 600 施設・団体に寄付を行っている。寄付先の一例は以下の通り。

自治体、社会福祉法人等

取組を実施するにあたっての組織の方針や体制

「地域応援ファンド」に関わる SBI 岡三 AM の体制は以下の通り。

- ・ 企画・設定：投信営業部が販売会社のニーズを聞いた上で、商品企画部と設定に向けファンドの組成を行う。目論見書等の法的書類の作成はディスクロージャー部が担当。
- ・ 運用（設定後）：ファンドの運用はアドバイザー運用部が担当。定期的な目論見書の改版はディスクロージャー部が、販売用資料や情報提供用資料の作成は投信マーケティング部が担当。ファンドによっては、寄附贈呈式を実施しており、投信営業部が自治体や販売会社と連携しながら行っている。

取組の今後の計画・広がりについて

地域の企業と定期的にテレビ電話等で対話の機会を設けているが、ESG への取組を含めて、今後も投資先企業の企業価値の向上、地域の発展に向け建設的な対話を継続していきたいと、担当部署では考えている。また、現時点で新たな企画案はないが、販売会社から依頼があれば企画・設定を検討する意向だ。

課題と課題解決のヒント、工夫した点、苦勞した点

地域関連株には流動性が低い（時価総額が小さく、市場で売買される株数も少ない）銘柄が含まれる。そのため、ポートフォリオの組入銘柄を入れ替える場合や、買い増し・一部売却などを行う際には、1 日で必要な全ての売買注文を執行せずに数日間に分けて執行することで対処している。また、ポートフォリオにおける1銘柄当たりの組入比率の上限を低く抑制的な水準に設定することで、組入銘柄の入れ替えの際に、大量の株数の売買を行う必要性が発生することを回避するなどといった工夫をしている。

<参照・引用した WEB サイト等>

- ・ SBI 岡三アセットマネジメント「応援ファンドでつくる Good で Better で Best な未来」
<https://www.sbiokasan-am.co.jp/feature/ouen/>
 - ・ SBI 岡三アセットマネジメント「ファンド情報」
<https://www.sbiokasan-am.co.jp/fund/index.html>
 - ・ （一社）投資信託協会「投信総合検索ライブラリー」
<https://toushin-lib.fwg.ne.jp/FdsWeb/FDST000000>
 - ・ Goldwin ブランドサイト「会社情報」
<https://www.goldwin.co.jp/goldwin/>
 - ・ 株式会社クスリのアオキホールディングス「企業情報」
<https://www.kusuri-aoki-hd.co.jp/company/>
 - ・ 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ「会社概要」
<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/info/overview/>
 - ・ 三谷商事株式会社「会社概要」
<https://www.mitani-corp.co.jp/company/profile.html>
 - ・ 北陸電力株式会社「会社概要」
<https://www.rikuden.co.jp/company/>
- （上記いずれもアクセス日は2025年2月1日）
- ・ SBI 岡三 AM へのヒアリング（地球・人間環境フォーラムが2025年2月19日に電話で実施）